

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第92回）に係る面談
2. 日時：令和3年6月28日（月）14時00分～15時40分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、岩永企画調査官、林田管理官補佐、
大辻室長補佐、久川係員、塩唐松係員、
高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

小林所長（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室9名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所7名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第92回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 福島第一原子力発電所の新設設備の耐震設計の基本方針について
- 3号機原子炉注水停止試験の結果及び今後の注水に係る検討について
- 汚染水発生抑制対策の進捗及び検討状況建屋の地下水及び雨水流入量
- 福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋の長期健全性評価に向けた原子炉建屋内調査結果について
- 一時保管エリアのコンテナ内部及び堆積物等調査の進捗状況について
- スラリー安定化処理に向けた設計について

○原子力規制庁は上記内容を確認するとともに、以下のとおりコメントを行った。

【福島第一原子力発電所の新設設備の耐震設計の基本方針について】

- 本年2月13日の地震を踏まえた1Fの耐震設計における地震動とその適用については、当庁の考え方を取りまとめているところであり、今後原子力規制委員会に諮る予定。可能であれば次回検討会において、原子力規制委員会における議論の状況を紹介したいと考えている。

【一時保管エリアのコンテナ内部及び堆積物等調査の進捗状況について】

- 一時保管エリアWにおける堆積物等の放射能及び化学性状の測定結果について、一部の堆積物において全β濃度とSr-90濃度に1桁近くのかい離があるため、

どのような核種が寄与しているのか等の分析・評価を示すこと。

- 外観目視点検の結果及び点検後に補修したコンテナの数等、コンテナの点検状況の詳細について示すこと。

【スラリー安定化処理に向けた設計について】

- 第91回検討会で指摘した事項に対して、東京電力の回答を明確に示すこと。特に前回の指摘内容と異なる方法を採用する場合にはその理由を示すこと。
- HIC内スラリーの移替え作業や一時保管施設におけるHICの保管容量との関係を整理した上で、スラリー安定化処理設備を運用開始しなければいけない時期について説明すること。
- スラリー移替え作業のスケジュールが変更になった理由を明確に示すとともに、移替え作業を開始するにあたって必要な準備作業の詳細を示すこと。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては対応する旨回答があった。

6. 資料

- 福島第一原子力発電所の新設設備の耐震設計の基本方針について（案）[東京電力]
- 3号機原子炉注水停止試験の結果及び今後の注水に係る検討について（案）[東京電力]
- 汚染水発生抑制対策の進捗及び検討状況建屋の地下水及び雨水流入量（案）[東京電力]
- 福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋内調査結果について（案）[東京電力]
- 1F規則第18条第10号判断について（案）（物揚場排水路PSFモニタ放射能高警報発生事象）[東京電力]
- ALPSスラリー安定化処理設備に関する確認事項 [原子力規制庁]
- スラリー安定化処理に向けた設計について（案）[東京電力]
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2021年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）[東京電力]